

鈴村邸・活動レポート

着物撮影会で地域交流

あつ活 NEWS! 第21号で取材した古民家『旧鈴村邸』。その後の活動取材しました。地域のつながり拠点として生まれ変わったこの施設で、地域交流行事が開催されました。若手とシニアの皆さんを交えた着物撮影会です。山梨県立大学の学生の発案により初開催となるこの催しには、二十歳のつどいを終えた着物姿の学生が参加。撮影会を終えた学生たちは、歓談スペースにて、来場した地域の皆さんと情報交換をしながら談笑して楽しい時間を過ごしました。

▲屏風の前で撮影に応じる学生
カメラマンはこの地域に住む
住民の方です

▶歓談スペースでの交流シーン
カメラ目線の方がオーナーの
飯田千春さんです

地域のつながり拠点であるこの鈴村邸には、オーナーである飯田千春さんによる施設活用への想いがありました。『地域のために地域の皆さんが活躍できる施設として活用してもらい、元気溢れる地域を復活させてもらいたい』『着物撮影会は私の願いが一つ実現した』との感想を語ってくれました。

今後も、つながり拠点として地域の皆さんや地域に関係する皆さんで、様々なアイデアを活かした地域交流事業を協働して実施していただきたいと思います。

地域活動とあつ活サポーター



春日地区自治会連合会

春日地区の恒例行事「どんど焼き」の運営支援をしてくれたのは、学生ボランティア団体『甲斐縁隊』の4人の皆さんです。4人は、地域の

子供たちに凧揚げ等の昔遊びの教え手や餅つきのつき手となり地域活動を支援。地域の皆さんからは、『親子連れの参加も多く若手世代が学生に親近感を持ってくれたようだ。大変助かった』との感想の声がありました。



石田地区自治会連合会

石田地区で開催された「お依頼桜まつり」で、『すみよし生活支援センター』が健康事業の拡大支援をしてくれました。お祭りの催しであるマル

シェにて、セラピードッグと交流できる機会を提供。来場者はアニマルセラピーによる癒しの効果を体験していました。石田地区からは、『親子連れの皆さんが癒しの時間を楽しんでいた。お祭りが盛り上がった』との感想がありました。

協働支援センター 研修情報

ワード・エクセル入門講座を開催しました

協働支援センターで、会計資料の作成や回覧文書の作成に役立てていただくための実践研修を開催しました。今回も大勢の市民の皆さんが参加してくれました。参加した市民の方からは、「帰宅してから復習して、自治会の会計事務で活用してみる」との感想が聞かれました。今後の地域活動の省力化と地域活動のさらなる活性化につなげてください。

これまでに協働支援センターで実施した研修の詳しい情報はこちらから▶



編集後記

メディアに

あつ活サポーターが取材されました!

あつ活サポーター団体である「すみよし生活支援センター」が甲府市長を表敬訪問しました。セラピードッグのマルコくんも同席して協働支援センターで実施された表敬訪問では、樋口市長とマルコくんのふれあいの様子がメディアに取材されました。皆さんの地域でも、地域活動担い手の助っ人「あつ活サポーター」との連携で、地域活動がこれまで以上に活発化するといいですね。

